

令和 7 年 12 月 吉日

各 位

学研高山地区南エリア土地区画整理準備組合
理 事 長 山 本 利 昭
(事務局:生駒市役所 都市整備部 学研推進課)

(仮称)学研高山地区南エリア土地区画整理事業 事業概要のご紹介

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

現在、奈良県生駒市の「学研高山地区」におきまして、産業・学術研究を中心としたまちづくりが順次進められております。「学研高山地区」は、国家プロジェクトである関西文化学術研究都市(愛称:けいはんな学研都市)のほぼ中央部に位置し、第 1 工区では奈良先端科学技術大学院大学や研究開発型産業施設などがすでに立地しております。

第 2 工区(約 288ha)におきましては、産業・学術研究拠点をさらに拡張すべく、組合施行の土地区画整理事業による段階的なまちづくりが計画されているところです。今回ご紹介させていただく「南エリア」では、第 2 工区の先行開発エリアとして令和 6 年 12 月に準備組合を結成し、生駒市と事業協力者である株式会社フジタの支援を受けながら、事業化に向けた検討を進めております。

つきましては、「南エリア」の概要書をご覧ください、将来の立地などに関し、ご質問やご興味等ございましたら、ぜひ下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

敬具

記

【お問い合わせ先】

学研高山地区南エリア土地区画整理準備組合

《事務局》

生駒市 都市整備部 学研推進課内

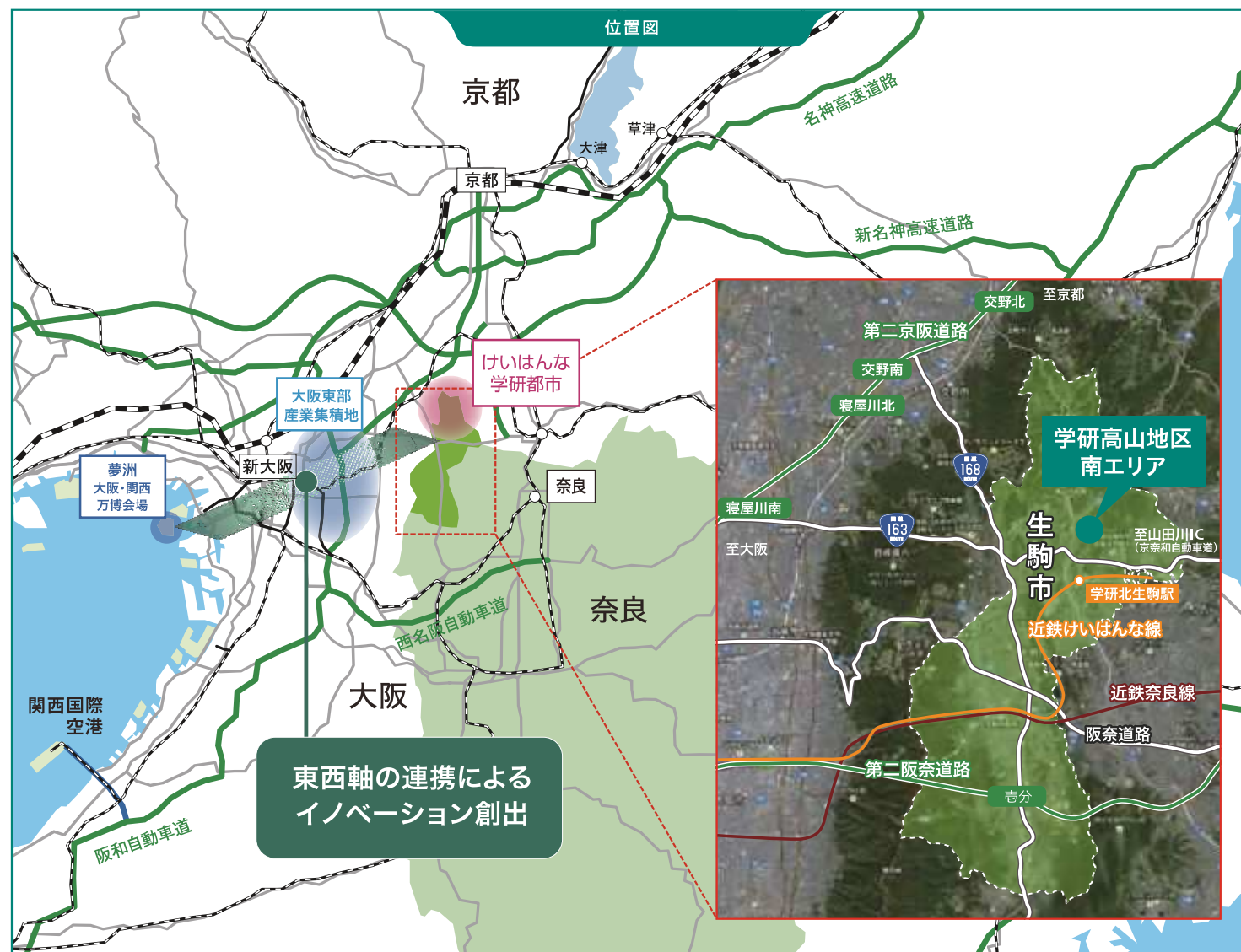
E-mail:gakken@city.ikoma.lg.jp(担当:銭谷、武村、北田)

《事業協力者》

株式会社フジタ 西日本開発事業部 地域開発推進第一部

E-mail:shinji.nishida@fujita.co.jp(担当:西田)

以 上

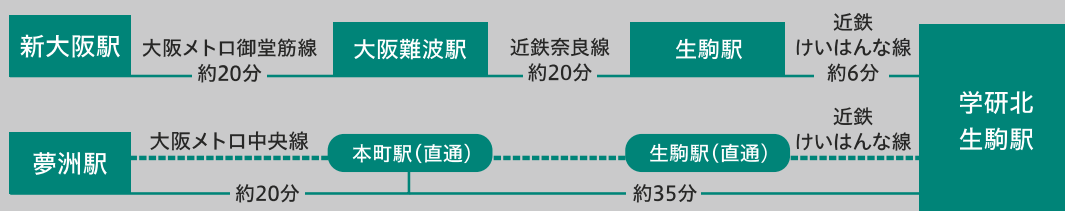


●お車でのアクセス

所要時間約50分	大阪市内	第二京阪道路	寝屋川南IC	国道163号
所要時間約60分	京都市内	第二京阪道路	交野北IC	国道168号→国道163号

学研高山地区南エリア

●公共交通機関でのアクセス



お問い合わせ先

学研高山地区南エリア土地区画整理準備組合

(事務局) 生駒市 都市整備部 学研推進課(担当: 銭谷、武村、北田) (事業協力者) 株式会社フジタ 西日本開発事業部(担当: 西田)
E-mail: gакken@city.ikoma.lg.jp E-mail: shinji.nishida@fujita.co.jp

2025年11月発行

未来をひらく 新文化首都



けいはんな
学研都市



けいはんな学研都市 新たなまちづくり計画のご案内

学研高山地区南エリア(奈良県生駒市)

学研高山地区南エリア土地区画整理準備組合

事務局:  生駒市
IKOMA CITY

けいはんな学研都市 学研高山地区南エリアの新たなまちづくり

学研高山地区南エリアは、けいはんな学研都市「高山地区」の第2工区(約288ha)の先行開発エリアであり、今後、土地区画整理事業による新たなまちづくりが計画されています。



事業概要	
事業手法	土地区画整理事業(組合施行方式)
所在地	奈良県生駒市高山町地内(けいはんな学研都市「高山地区」)
面積	約47ha(内、事業用地面積未定) ※第2工区全体:約288ha
都市計画	都市計画区域、市街化区域(用途地域は今後変更予定)
スケジュール	2027年度以降 土地区画整理組合設立(事業認可) 造成工事 土地引渡し(建築着工)

地区の特長①

大阪、京都、奈良の中心部まで30km圏内の良好な立地

奈良県北部に位置し、大阪府や京都府にも近接しているため、安定した雇用の確保が見込まれます。また、国道163号のバイパス工事が進行しており、第二京阪道路や京奈和自動車道へのアクセス性も高まっています。

地区の特長②

ゆとりある研究・操業環境

新たなまちづくりのため、企業ニーズを踏まえた柔軟な街区形成や道路計画を行うことで、大規模な敷地確保も可能です。また、公園・緑地や各種インフラを一体的に整備するなど、良好な研究・操業環境を形成します。

地区の特長③

大学・研究機関等との連携

近接する奈良先端科学技術大学院大学をはじめとした、学研都市に立地する各種施設との連携によるシナジー効果を望めます。また、生駒市や関西文化学術研究都市推進機構がイノベーション創出を支援します。

基本構想

学研高山 南エリアからつながるまちづくり ～ 世界に向けてTake Off!! ～

近接する奈良先端科学技術大学院大学や研究開発型産業施設との連携を図りながら、文化や技術を世界に発信するとともに、よりよい未来に貢献する企業や研究者を育む次世代のまちづくりを目指しています。

けいはんな学研都市の形成に向けて

多様な土地利用を想定し、企業ニーズにマッチした柔軟な土地利用計画の検討を進めています。

住宅ゾーン

- 住民が企業の研究開発に実証実験的な役割で参加する居住実験都市
- ICT等を活用したスマートなライフスタイル
- 子育て世帯や高齢者まで、あらゆる人が快適に住み続けられる次世代型住環境の形成



研究支援・研究型産業ゾーン

- 研究成果の実装・実証実験を行う場の創出
- イノベーションの創出、研究開発を支援するバックアップ拠点の創出



企業立地促進補助制度

本地区への企業立地を促進する各種補助制度があります。詳しくは、奈良県もしくは生駒市にお問い合わせください。

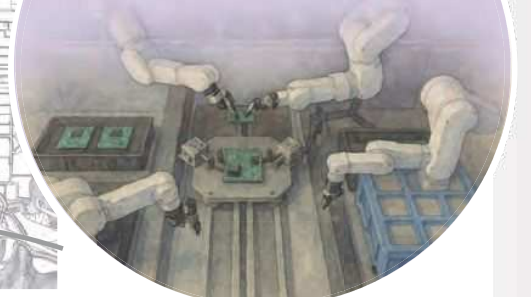
都市機能集積ゾーン

- 周辺地区との連携による、相乗効果を生み出す学研高山地区の中核
- ライフステージの変化や新しい生活様式に対応することができる生活利便施設等の集積
- 人と人が交流する賑わい空間の創出



都市型産業ゾーン

- 研究・イノベーション開発の拠点となる研究開発型産業施設の集積
- 文化・学術・研究の成果を活かす産業施設、ものづくり産業施設の集積



文化学術研究ゾーン

- ものづくり産業やことづくり産業、新しい価値を創出する場としての文化学術研究施設などの機能の集積
- 技術者の育成を図ることを目指した施設



※写真・イラストはAIにより生成したイメージ画像で、実際とは異なります。